

大学院看護学研究科		授業科目	看護政策研究 Study on Nursing Politics			担当教員	林 千冬 (専任) 井上 冷子 (非常勤)	
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目分類	専門科目 看護組織学	授業形態	講義	
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>〔林〕 1)看護政策の変遷を概説し、政策決定過程を理解するための基本的概念を教授する 2)看護政策決定過程を、関連諸団体の力学的な相互関係をとらえつつ考察する。 3)今日の看護をめぐる政策的諸課題を明らかにし、看護職者が、実践的および研究的な側面から、これら諸課題にどのように取り組むことができるかについて考察する。</p> <p>〔井上〕 地方公共団体レベルでの看護政策をめぐる諸課題、政策決定過程への看護職者の関与のありかたについて、具体的な事例にもとづいて教授する。</p>						
授業のキーワード		看護政策、政策決定過程、世論形成、審議会、圧力団体、職能団体						
講義回数	授業内容及び計画							
第1,2回 第3,4回 第5,6回 第7,8回 第9,10回 第11-13回	<p>イントロダクション—医療・看護政策の対象と範囲、政策決定過程、事例紹介 トピックス—現下の政策の動向 (ex. 「特定看護師」、外国人看護師導入等) ○<u>地方公共団体における医療・看護政策1 (井上)</u> ○<u>地方公共団体における医療・看護政策2 (井上)</u> 看護政策に関する紹介ならびに政策提言 (学生プレゼンテーション※) 1, 2 看護政策に関する紹介ならびに政策提言 (学生プレゼンテーション※) 3-5</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※プレゼンテーションのテーマは、 職能団体 (看護協会) と政策 (医師会ほか他の職能団体や政府等との関連で) その他の看護職者の政治活動。 看護職員・介護職員の養成・需給他 (看護職との関連で)、外国人看護師導入 診療報酬におけるケアの経済評価 看護職員の資質の向上、基礎教育の年限延長 …等から各自の専門分野も加味して自由に選択する</p> </div>							
第14,15回	<p>まとめの討論 看護政策の課題と政策提言ならびに政策に寄与する研究について</p>							
テキスト	指定しない							
参考文献	<p>1. 金子光編：初期の看護行政，日本看護協会出版会 2. 大嶽秀夫：政策過程，東京大学出版会 3. 松下圭一：政策型思考と政治，東京大学出版会 4. 見藤隆子ほか：看護職者のための政策過程入門，日本看護協会出版会 5. 東京大学医療政策人材養成講座編：医療政策入門，医学書院 6. Diana J. Mason et al: Policy and Politics(4th. ed), Saunders 7. 社会保険旬報 (各号)，社会保険研究所 (※医療政策の最新の動きを追うのに役立つ雑誌) ・・・他、適宜紹介する</p>							
成績評価の方法	<p>プレゼンテーション (40%)、発言によるゼミへの貢献 (10%)、最終レポート (50%) で評価。 プレゼン、レポートの評価基準は、①内容が正確でありかつ主要な論点を踏まえているか (5割)、②自らの体験も踏まえつつ多角的かつ現実的な考察がなされているか (3割)、③改善策 (提言) が独創的でありかつ現実的であるか (2割) を基準に評価。 ゼミにおける発言は、討論の促進に貢献する内容や頻度 (タイミング) でなされているかを評価。</p>							
教員から学生へのメッセージ	<p>* 政策課題は実に多様ですので、プレゼンのテーマについては、授業開始時に、みなさんの経験や関心、リクエストにもとづき選択します。 * 活発な議論を期待します。</p>							